



<学校行事（修学旅行）について>

3年女子（栃木西中出身）

本校では、2年次に沖縄県（3泊4日）への修学旅行が計画されています。去年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの学校で修学旅行が中止や延期となる中で、方面を変更し北海道函館市（2泊3日）へ行って来ました。修学旅行に参加し、高校生活の良き思い出をたくさん作ることができ、また特に3つのことを学びました。

1つ目は、北海道の歴史についてです。五稜郭タワーでは、1868年～1869年に戊辰戦争の最後の戦いである五稜郭の戦いが行われた場所であることを知り、新撰組について大変興味を持ちました。

2つ目は、地名についてです。北海道は読みにくい地名が多いことに気づき、調べてみました。すると、アイヌ語に由来するものが約8割もあることが分かりました。例えば、札幌は、サッ・ポロ・ッペ（乾く・大きい・川）に由来し、札幌の中心部に流れている豊平川が乾季になると大幅に水量が少なくなることから名付けられたそうです。

3つ目は、函館市場へ行き北海道を代表する海産物を目の当たりにし、仲卸業者の役割について知ることができました。函館市場ではたくさんのお土産を買いました。また、それぞれの見学地で蟹・イクラ・シリングスカンなど北海道ならではの名産物を味わうことができました。

最後に、修学旅行の参加者が誰一人感染することなく無事に終えることができました。これは、

「安心に行って安全に帰って来る」ために感染対策や計画を立ててくださった先生方、旅行会社の方々のお陰です。本当にありがとうございました。修学旅行に参加し、北海道の歴史や文化に触れ多くのことを学ぶことができ、自分自身を成長させることができました。

